

事前審査シート 新旧対照表

大項目		中項目		新				旧	
				該当項目	重要度	番号	小項目	重要度	小項目
VI	新型コロナウイルス感染症対策	②	新型コロナウイルス感染症対策試験当日	受付の飛沫感染防止対策	○	69	受付では、アクリル板設置等の対策をしている。 ※アクリル板設置の場合は、エアゾル感染対策の観点から、空気の流れを阻害しない設置に留意している。	○	受付では、試験運営関係者が正しくマスクを着用する*だけでなく、アクリル板設置やフェイスガード装着等の対策をしている *鼻から顎まで覆い顔にフィットさせ隙間なく着用する（不織布マスク推奨）
				マスクの着用 （「正しい」を削除）	◎	77	マスクの着用は個人の判断に委ね、本人の意思に反してマスクの着脱を強いることが無いように配慮している。	◎	マスクの着用は、屋外では原則不要、屋内では着用を推奨するが、人との距離（めやす2メートル）が確保でき会話をほとんど行わない場合は不要とする、病気や障害等でマスク着用が困難な場合には、個別の事情に鑑み、差別等が生じないよう十分配慮する。
				該 【面接試験を実施する場合】	○	78	面接試験の場合、人と人との距離が確保できない場合には、アクリル板等の設置による飛沫感染の対策を行っている。 ※アクリル板設置の場合は、エアゾル感染対策の観点から、空気の流れを阻害しない設置に留意している。	○	面接試験の場合、正しいマスク着用に加えアクリル板の設置やフェイスガードの装着、インターネットを通じて非対面で行うなどの対策をしている
				受検者に大きな声で指示する際の対応	○	81	試験運営関係者は受検者に対して大きな声で指示を出す際は、受検者と適切な距離を保つ等の対応をとる	○	試験運営関係者は受検者に対して大きな声で指示を出す際は、正しいマスクの着用に加えて、受検者と適切な距離を保つ等の対応をとる